

にほん しぜん く
日本とネパールの自然と暮らし

THEENG RAJAN

(ティーン ラジャン)

出身地：ネパール

わたし にほん き ねんちか にほん しぜん く ちが
私は日本に来て、二年近くなります。ネパールと日本では、自然も暮らしも違います。
しぜん しぜん おお ゆうだい せかい いちばんたか やま きせつ
ネパールの自然はとても大きくて雄大です。世界で一番高い山、エベレストがあり、季節
やま いる か うつく みなみ ちほう もり
によって山の色が変わり、とても美しいです。南の地方には森があり、サイやトラなどの
やせいどうぶつ ひとびと せいかつ しぜん ひとびと あさはや
野生動物がいます。ネパールの人々の生活は、自然ととてもつながっています。人々は朝早
お はたけ どうぶつ せ わ いえ うし にわとり か た
く起きて畑や動物の世話をしています。家では牛やヤギ、鶏を飼っています。そして、田
こめ つく はたけ やさい くだもの そだ のうさぎょう きせつ てんき あ おこな
んぼでお米を作ったり、畑で野菜や果物を育てます。農作業は季節や天気に合わせて行わ
れれます。ネパールの人々は、雨がほしいときに神さまや自然の力にお願いすると雨がふる
しん ひとびと あめ かみ しぜん ちから ねが あめ
と信じています。そのために、お祈りや踊り、特別な行事を行うことがあります。たとえ
ば、雨の踊り、お祈りやお供えをすることもあります。この信じ方は、人と自然のつながり
しぜん ちから たす ねが あらわ しぜん しんせい
や自然の力に助けてもらいたいという願いを表しています。ネパールの自然は神聖なもの
かなが ひとびと しぜん とも い
と考えられ、人々は自然と共に生きています。

いっぽう にほん しぜん ゆうだい し き きせつ たの
一方、日本の自然は、ネパールほど雄大ではありませんが四季があり、季節ごとの楽しみ
はる はなみ なつ やま うみ あき こうよう ふゆ ゆき おんせん たの ひとびと きせつ あ
があります。春は花見、夏には山や海、秋は紅葉、冬は雪や温泉を楽しみ、人々は季節に合
せいかつ たいせつ
わせた生活を大切にしています。

ひと しぜん たす しぜん とも い にほん し き
ネパール人は、自然に助けられながら自然と共に生きています。そして、日本は四季の
ぶんか たの く みりよくてき ふた くに しぜん せいかつ くら
文化を楽しみながら暮らしています。どちらも、魅力的です。二つの国の自然や生活を比べ
ひとびと せいかつ ぶんか しぜん かんけい かん
ることで、人々の生活や文化と自然の関係をよりよく感じることができます。

いま ちきゅうおんだんか しんりんはかい せかいてき もんだい しぜん き き ふた
しかし今、地球温暖化や森林破壊などの世界的な問題で、自然は危機にあります。二つの
くに しぜん まも わたし しぜん たいせつ こうどう かんが たいせつ おも
国の自然を守るために、私たちは、自然を大切にすることを考えることが大切だと思いま
す。